



安濃津だより

令和3年10月
第28号
発行・編集 安濃津ガイド会

令和三年度の総会について

四月十一日（日）、津センターパレス二階会議室において令和三年度の総会が開催された。出席者は十五名で、昨年度の会則の改正で会長が議長となり、令和二年度活動報告・会計報告・会計監査報告、令和三年度活動計画案・予算案・役員選出の議事が行われすべて承認された。

令和三年度役員

会長 藤本智恵子
副会長 澁谷信良
副会長 見並勤子
事務局長 会長兼務
会計 朝倉征子
幹事 坂口義孝
深見和正
福正直
別所勝
山本三千代
山本三千代
杉山哲夫
会計監査



総会終了後は、当会幹事の深見和正氏による「津城跡研修会」を行った。

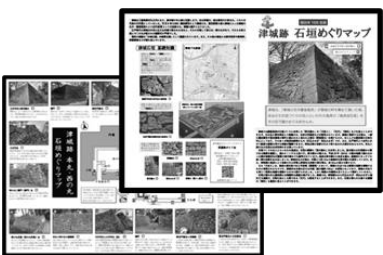
津城跡の再研修

藤本 智恵子

平素より安濃津ガイド会、並びに関係団体の事業に、ご参加・ご協力いただき誠に有難うございます。今年度最初の事業は「津城跡研修会」でした。津城跡はガイド依頼が最も多く、ガイド担当者は何度もガイドしています。しかし、入会年度も違い、皆が一緒に津城を研修することはありませんでした。会員全員が、共通の知識を持つためにも津城跡の再研修をしてはどうかというところで計画をしました。「日本城郭検定」一級の資格を持つ会員の深見さんの説明は、根拠にもとづく説明で、古参の私にとってもすごく勉強になりました。その後、深見さんは研修をもとに「津城跡石垣巡りマップ」の原案を作成されました。その原案をもとに、役員が意見を出し合い、現在の「津城跡石垣巡りマップ」が作成されました。

昨年度作成した「津中心部の見所案内・津中心部周辺の見所案内」に続き「津城跡石垣巡りマップ」も好評で、詰所や高山神社での配布のほか、コロナ禍でもご依頼いただいている各種ガイドでも活用させていただいています。

詰所での活動は、なかなか通常通りの再開はできませんが、コロナ対策を十分に行っていると思います。件数は激減しましたが、津の良さ、津城跡の良さを多くの皆さまにガイドできることに感謝をし、より一層精進してまいりますので、今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



津城跡石垣めぐりマップ

安濃津ガイド会にて「津城跡石垣めぐりマップ」を作成！

津城は平成二十九年に「続日本百名城」に選ばれました。それ以来、全国から百名城のスタンプ帳を持ってたくさんのお城ファンが来城されています。津城は築城の名手・藤堂高虎の居城として築城の粋を注ぎ込んだ名城でした。しかし、明治以後の建物の取り壊しや堀の埋め立て・戦災などによって往時の津城の姿が失われてしまいました。現在では、本丸の石垣と北堀の一部にその名残を残すのみとなりました。ところが、その本丸石垣には天正期から現在まで時代による様々な積み方や刻印・矢穴などを見ることができるとのことです。

今回安濃津ガイド会で作成した「津城跡石垣めぐりマップ」は、ほぼ完全な状態で残っている本丸石垣を、来城されたお客様に見ていただき津城の素晴らしさを知っていただきたいと思います。ガイドの切なる思いにより完成いたしました。おかげさまで、新聞報道やFM三重の生放送により知名度も上がり、「津城跡石垣めぐりマップ」を片手に津城をめぐられ、「分かります」「一人でもお城めぐりができる」と好評をいただいております。

F M 三重リポーター迫田さんがブログで大変分かりやすく書いていただいておりますので以下に抜粋いたします。

「全国から訪れるお城好きの方に石垣の特徴を伝えよう」とも呼ばれた藤堂高虎による様々な石垣が分かります。掲載されています。十六カ所を写真付きで丁寧に解説。
・本丸・西の丸の見取り図
・天正時代の野面積み
・高虎時代の打込はぎ
・高虎が改修した大天守台の算木積み
・明治・昭和時代の改修箇所
また、十六カ所それぞれの石垣にチェックマークが付いているので、漏れなく回れるよう工夫されています。

津城跡を訪れるお城好きの多くは石垣に関心を寄せる人なんだそう。建物に残っていませんが、その分しっかりと残っている高虎流の石垣。

戦国時代から現代までの数百年の石積みの変遷や積み方が分かる貴重なお城です。

◆マップの配布場所

津城東側お城東駐車場
「津まん中ガイド詰所」
土日祝日 午前九時半～午後四時
高虎公をお祀りする高山神社
毎日 午前九時～午後四時
こちらで無料配布しています！
（深見 和正）



FM 三重生放送「ゲツモク！」の様子（ガイド詰所にて）

津城跡研修会

四月十一日（日）、令和三年度の総会がセンターパレス二階で行われました。終了後、午後二時から当ガイド会員向けに「津城跡研修会」がありました。講師は当会幹事深見和正氏で、始め一時間程度学ばれました。

先ず日本城郭検定四級から一級までの過去問からクイズをしました。津城、高虎関係は抜粋した十六問で四択問題です。

日頃ガイドをしているので、この関連の答えを選ぶのはほとんど出来ましたが、正解以外の設問を解説していただいたのがとても勉強になりました。

その後は、パワーポイントでスクリーンに津城本丸復元図等映して、石垣の基礎知識から特徴、積み方、多門櫓等の説明がありました。

休憩後津城跡へ移動。現地では各時代の石垣のお話を聞きながら同時に思いを馳せ見学、犬走りなど場所によっては、メジャーで計測していただいたので幅や長さがよく分かりました。

私はこの研修が、自分の知識の確認とより一層充実した内容が、新たな引き出しに入っただけ感じがします。また会員の方々と質問や意見等出合っただけに現地を巡ることが出来る楽しい研修会となりました。

津城の石垣は、時代や種類、積み方がいろいろあり織田信包築城以降の変遷がよく分かります。コロナ禍が落ち着いたらお城めぐりのお客様を、一日も早くご案内したい気持ちで一杯です。
（山本 三千代）

ガイドの心得 ～私のメモ～

高森 孝一

コロナ禍で在宅時間が多くなり、十年程で溜まったガイド関連資料の整理をしました。そのなかに、お客様ガイドについて、講習会で受けたメモに、私にとって、再考することが多くありました。

私達はガイドのプロではありませんが、お客様は、私どもをセミプロ程度に期待されていると思っています。これから、セミプロ級のガイドが目標と思っています。

以下、講習会などで学んだことの「メモ」を列記して、自戒といたしたい。

- ①あれもこれも語りたいと、多く語るのはいけません。お客様は満足していません。
 - ②「一言」での語りは、遠方からのお客様に、旅情を感じると喜ばれる。しかし近隣のお客様には、なれなれしく失礼と受けとめられる場合があります。
 - ③意識して、腹から声を出す。3メートル前のお客様に話かけるようにする。
 - ④三十秒で一つの文にする（分かりやすい）。
 - ⑤仲間のガイドに随伴して学ぶ。
 - ⑥自分のガイドを録音してチェック。
 - ⑦自分から楽しみながらのガイドをする。
- 私事。高齢で四月に役員を辞任しましたが、今後とも、体力・気力のある限り、ガイドを続けたいと思っています。

ミニミニ勉強会での提案について

七月の連絡会・役員会のミニミニ勉強会にて、「ガイド用資料整備」と「会員募集」に関する活動案を深見和正さんと提案させて頂きました。「ガイド用資料整備」は、会員が個々に所持している資料を収集してガイド用資料を再整備し、共有サーバーにて保管・共有することで、ガイド内容の充実化を図っていくという活動です。早速共有サーバーを導入していただきましたので、皆さんのご協力を得ながら、資料整備とサーバーの使い勝手の向上等を図っていききたいと考えています。

「会員募集」は、増員により会の活性化を図っていくという活動です。会員募集には、まず会の活動内容を詳しく知ってもらうことが重要と考え、会主催のイベントを通して参加者の方に活動内容を発信していくことを考えています。

津の魅力はたくさんの方に知っていただくには、ガイド内容の充実化と活動活性化が必要だと思っています。今後とも、皆さんのアドバイスとご意見をいただけてそれらの活動を具現化し、ご理解を得ながら取り組んでいきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。
（坂口 義孝）

ガイド実績

五月二十日	橋南公民館講座 二十四名
二十八日	閻魔堂他
六月三日	津城跡・高山神社
八日	津城跡・津観音他
九日	津カイドネット伊賀街道
九日	二十四名 前田宿・津城跡
十七日	橋南公民館 寿大学 二十五名
十七日	阿弥陀寺・浄安寺他
二十五日	橋南公民館講座 二十六名
二十五日	阿漕塚他
二十八日	橋南公民館健康ウォーク 十九名
二十八日	なぎさまち他
七月十四日	健康つくり楽々会 九名 寒松院
十五日	日本セカンドライフ協会 十二名
十五日	津城跡・津観音他
十五日	橋南公民館講座 十三名
八月一日	丸の内周辺
十五日	名古屋おもてなし隊 三名 津城跡
二十七日	FM三重 一名 津城跡
八月九日	ときめき高虎会 三十名
八月九日	津城跡・高山神社
八月九日	杉田様 三名 津城跡

詰所の実績

四月	四十六名
五月・六月	（閉所）
七月	六十七名
八月	六十七名
九月	十一名（八日から閉所）

●新型コロナウイルスの感染拡大防止のため一時閉所としたため、閉所日は二十二日間。

～わきみち よりみち 伊賀街道～

伊賀街道ウォークの第二回目として「片田・前田宿から津城」までを歩きました。
今回も私達の歩こう会グループの精鋭達九名が参加しました。スタートは片田・久保バス停からいきなり急登りの光善寺を目指しました。ご住職さんの詳しいお話を聞き、薬師堂に安置されている重要文化財の仏像を拝観し、本日のウォークの無事をお祈りしました。

ご利益を力に変えて前田宿の街並みを眺めつつ、片田の街の少し変わった名前の神社「八乳合神社」に立ち寄り、今度は伊賀街道から少し寄り道して坂本山古墳をかすめて歩いている道は、戦前の軽便鉄道・安濃鉄道の線路跡との説明を受けました。製品の集落に平氏発症の伝承地、忠盛塚から旭晶寺、小高い場所にひっそりと安置されている平正盛の墓にお参りし、その奥にある置染神社など、安濃津ガイド会のガイドさんの流ちょうな語り口にタイムマシンで時空を超える思いでした。

今日の行程は長丁場とは理解していましたが、まだ昼食の場所も見えず、更には暑さも加わりエネルギーの消耗に拍車がかかり、やっとの思いで昼食会場の西部市民センターに到着しました。休憩して体力を取り戻し後半の行程に元気よく出発し、安濃川に沿って下り、橋を渡り大神宮時に立ち寄り、伊賀街道に戻り津出身の国学者・谷川士清の生家にて士清の会のガイドさんの説明を受けました。

ここまで来たら精鋭の参加者もかなり疲労困憊もピークに達し最後のパワーを振り絞り津新町駅に滑り込みました。
変化に富んだコース設定、ガイドさんの分かりやすい説明で楽しい一日を過ごすことが出来ました。



光善寺でのガイドの様子

ガイド担当責任者を引き継いで

前任者高森さんの突然の勇退で、ガイド担当責任者を引き継ぐ事になりました。今までガイドを受けるだけであつたのが、業務を引き継ぐ過程で色々とお苦勞を頂いていたのだと改めて認識をしました。丁寧な引継ぎを受け、関係各所への挨拶回りも済むと、自身の頭の整理と業務内容の確認作業に取り掛かりました。

まずは「お客様とガイドの安全」を最優先とします。次に業務の内容として「ガイドの受付」お客様情報の確認とご要望を適切に捉え担当ガイドに伝える事。「ガイド担当割」当会のガイドは全て「推しガイド」ですが、個性も事情も違うので、回数での完全な公平さはやはり難しいと感じます。【資料整備】前任者の資料を基に更に充実した内容をこの思いに全面的な協力を申し出て頂いた坂口さんと深見さんに感謝します。これは後に「ワンドライブ」を導入することで皆さんにも快く受け入れて頂きましたが、活用するにはガイドの皆さんのご理解ご協力が不可欠です。きっと将来貴重な資料として重宝されるに違いないと信じています。

不安材料は私自身がご当地出身で無い為、地理や地元の歴史に不案内な事ですが、前任者のアドバイスや地元出身の仲間がフォローしてくれるので随分心強いのです。
私自身お受けした時から次の世代への中継ぎと心得てしっかりバトンを渡したいと思っていますので、力不足ではありますが少しの間お力を貸して頂ければ幸いです。
(見並 勤子)

副会長を拝命して

今年度、多くの諸先輩方をさしおいて「副会長」を拝命しました。
知識、能力的にも未熟な私で良いのかと自問自答を繰り返し、約半年が過ぎようとしています。

昨年二月より始まったコロナウイルスの脅威は、一年半経った今も深刻な状況が続いています。ワクチン接種が進み状況改善されるかと期待していますが、私の周囲でも今すでに接種済の方の感染が複数発生しています。

一体何時になったら正常な活動が出来るのか？私自身も、リタイア後のボランティアとして、色々な活動の役をさせて頂いていただいています。が、若い時ならいざ知らず、この二年弱は本当に、人生を損じた気分になっています。

計画しては延期、中止の繰り返しで何も進みません。

愚痴ばかり言っても仕方がないのですが、コロナと共存できる新しい環境が見えるまで、今は我慢して各自色々な知識習得をするなど、自己研鑽していくしかないのかなと思います。自己研鑽担当としても、環境が整いましたら、目で見て、興味がわき、為になる企画を考えたいと思いますのでよろしくお願ひします。
早く正常な活動が再開できることを願ひしつつ、どうぞ皆様方もお体にはくれぐれもご自愛いただき、一緒にまた楽しく活動したいと願ひしています。
(蒔谷 信良)



安濃津ガイド会入会について

水谷 浩章

二〇二一年五月に入会した水谷浩章です。
現在は四日市に住んでいます。が、そんな私が安濃津ガイド会に入会したいささつをお話します。

私は昭和二十八年に津新町で生まれました。住んでいたのは新町駅東側のアパートでした。新町通側には楽器屋さんとパチンコ屋に挟まれた狭い路地のアパートで一階には八百屋さんがあり私の家族はそのアパートの二階に住んでいました。その路地の奥にはバーもしくはキャバレーがありそこで働くお姉さんにかわいがつてもらった覚えがあります。

そして三歳の時そこから南の新町公園（正式名は不明）の南側に父が桔梗屋という製菓製パン食品材料卸問屋の店を建て、そこが住まいになりました。三歳なのにその建築中の様子を母親とよく見に来たことをいまだに覚えています。

そしてお寺の幼稚園（西橋内中学北側にある龍津寺）、新町幼稚園、新町小学校、西橋内中学、津高校と十六歳までは津新町で育ちました。その後十八歳までは大門の四階建て元白銀屋ビルを父が買い取り桔梗屋ビルとして店を一階に移転しました。今の三十三銀行のある場所です。私たちはそのビルの二階に住みましました。

その後関西の大学に進み東京で就職し、二十歳の時家業の桔梗屋を継ぐため津に戻ってきました。そして津JCに入会し津の商売されている方々と知り合いになりました。

その後桔梗屋の四日市支店を拡張するため四日市に新しい住まいを建てて現在も四日市に住んでいます。

さて、安濃津ガイド会を知ったのはアマチュア無線仲間の関さんからお誘いを受けたからです。当時私は趣味でドローンを使って津の風景を空中から撮影してYouTubeに投稿していました。その後コロナ禍が起こり花見ができなくなったとき、たまたま前年に津偕楽公園

と津お城公園の花見の映像があったので津の道の駅で使っていたいただいたのをきっかけに、もっと広く一般市民に素敵な津の景色を見ていただきたいと思い安濃津ガイド会の活動の中で私の技術が少しでもお役に立てればと思います、入会させていただきます。四日市に住んでいるので思うように協力できませんが微力ではありますがよろしくお願いします。

安濃津ガイド会に入会して

弓矢 真智子

安濃津ガイド会に入会して一年が過ぎました。

入会当初は、このまま治まっていくだろうと思ったコロナ騒動が更に勢いを増してしまい、春の連休前後に参加させていただく予定だったガイドの予定も無くなり、それ以後もオリンピック等の事情により蔓延する一方で・・・

やはり実地現場で覚えるのが一番良いと思っていたのですが、なかなか経験出来ず一年が過ぎてしまいました。

そんな中、入会時に前副会長さんのガイドに参加させていただいたり、皆さんとの役員会後に津城に行き、深見さんの石垣の説明を聞かせていただいたりは、とても良い経験になりました。

現在、仕事帰りに両膝骨折・左肩骨挫傷を患い自宅療養中で、更に参加出来ない状態が続き大変申し訳なく思っています。

皆さんの知識の深さには大変感銘をしています。

元氣になりましたら是非とも又いろいろと教えていただきたいと思っていますので、よろしくお願ひ致します。

又、仕事復帰の折には、観光案内所にてシフトで勤務していますので、津駅近くにお越しの際には是非お立ち寄り下さい。



オリンピック、パラリンピックと聖火リレー

1年延期されていた東京オリンピック、パラリンピック大会が7月～9月に開催され、新型コロナウイルス感染拡大で制約が多い中、国内外のアスリートの活躍が世界中に大きな感動を与えました。日本選手の活躍もすばらしく、オリンピックで金27銀14銅17個、パラリンピックで金13銀15銅23個のメダルを獲得、三重県ゆかりの選手ではフェンシングの山田優選手、レスリングの向田真優選手が金メダルに輝きました。

1936年ベルリン大会からの伝統である聖火リレーも全国で実施され、三重県では4月7日と8日の二日間12市町184人のランナーが無事聖火をつなぐという大役を果たされました。当会の山本三千代さんは伊勢の聖火ランナーとして参加され、5月の連絡会で、聖火ランナーに選ばれた時の喜び、1年延期になったの不安、本番を迎えるまでの体調管理などのご苦勞話、そして聖火ランナーとしての感動と重責を果たされたお気持ちを語っていただきました。連絡



会参加者もトーチを手に取ることができ、和気あいあいと写真を撮る時間を過ごすことができました。（坂口 義孝）



役員に任命いただいて

知識も経験も不十分な私にとって役員は本当に大役ですが、先輩役員の方々、会員の皆様のご助言をいただき、ご期待に恥えらるるよう日々精進していきたいと思ひますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

とは言つものの担当である広報とガイド・研修用の資料作成補助について、いったい何が出来るのだろうか悩んでおりましたが、まずできることからガイドに活用できる資料の収集とそれらをガイドポイント毎にまとめることを始めました。まだまだ不十分なものですが、内容の充実とガイドに活用しやすいように工夫を加えることで、皆さんの役に立つような資料にしていきたいと思ひます。また、デジタル技術やSNSの活用にもチャレンジして、安濃津ガイド会としての発信力アップにつなげていきたいと思ひますので、今後とも指導をよろしくお願ひいたします。（坂口 義孝）

安濃津ガイド会の活動実績

- ▼四月十一日（日）参加者 十五名
「津城跡研修会」講師 深見さん
- ▼四月二十四日（土）参加者 六名
「わきみちよりみち伊賀街道②」の下見研修
- ▼六月八日（火）参加者 三名
「わきみちよりみち伊賀街道②」のガイド
- ▼「津城跡石垣めぐりマップ」を作成
- ※五月／八月は連絡会・役員会の前にミニミニ勉強会を行った（九月は連絡会・役員会中止）

その他の活動実績

- ☆津観光ガイドネット協議会
・四月二十六日（月）総会
- ・連絡会・研修部会・イベント部会へ参加（毎月第四月曜日、九月は延期）
- ・道の駅「津かわげ」で津市の観光案内
- ※歴史講演会と伊勢本街道美杉会担当の現地研修会は延期、延期になっていた令和二年度交流研修会は再延期になった

●発行にあたり、皆様のご協力に感謝いたします。
(編集担当・坂口)

